

ひめやくつうしん

No.27 2025 年 6 月

* 会長挨拶 *

2025 年 6 月 8 日、日曜日に第 11 回一般社団法人 姫路薬剤師会の定時総会を開催し、報告 3 本、議案 5 本を慎重審議していただき、全て承認されましたことをご報告いたします。

会長の職務としては 1 期目の 2 年目に入ります。

昨年度は無難に事業が行えたのは一緒にこの姫路

薬剤師会を牽引していただいている執行部と事務局、そして会員の皆様のおかげだと思っております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

姫路市、神崎郡において医療業界を取り巻く変化は大きく乗り遅れないように、行政、医療団体とも協力しながら市民のために、それが結果、会員のためになるように連携していきたいと思えます。

先日、薬機法の改正があり、薬剤師にかせられる役目、業務の幅がまた広がる形になります。国は国民の利便性を考えるあまり、今後起こり得る問題が山のようにあることを分かっていないのかわかっているのか、問題が起こってから対応を求めてくるのでしょうか。一度緩めた制度はなかなか元に戻すことはできません。やはり政治的な力が必要なのを感じます。

下記に 2025 年薬機法改正において、大きく変わる点を 3 つ示しています。

- ① オンライン服薬指導の拡大
- ② 調剤の一部を外部に委託できる新制度
- ③ コンビニなど薬剤師不在店舗での OTC 販売の解禁です。

元々の背景になったのが、

1. ジェネリックの供給不足
2. 医療費の抑制とセルフメディケーションの推進
3. ネットや IT 技術の進化
4. 若い人たちによる市販薬の乱用（いわゆる OD 問題）です。

いま起きている課題を解決しようとしたのが、今回の薬機法改正であり、厚生労働省は薬局をもっと「地域の健康拠点」にしたいという思いがあります。健康サポート薬局が健康増進支援薬局へ変更となり知事認定薬局が 3 つとなります。そのために、制度面でもアップデートが必要となり、単なるルール変更ではなく「薬剤師に求められる役割の変化」が求められています。

施工のタイミングは以下の通りです。

1 年以内に施行：オンライン服薬指導の対象拡大

2 年以内に施行：一部調剤業務の外部委託

2025 年度中に：OTC 販売方法の変更（遠隔販売・乱用対策など）



これらの対応をするためにも姫路薬剤師会では、研修においては支部単独で、定期研修会、感染症対策研修会、災害対策研修会、学校薬剤師に対する研修会、多職種との合同研修等で在宅医療に関する研修会を兵庫県薬剤師会に頼るだけでなく独自に取り組んでいます。

今年度も各部会が改正薬機法や第8次医療計画の中で薬剤師・薬局の記載が増えたことを、チャンスだととらえ姫路薬剤師会として対応していく事業計画をたてています。

また、在宅医療の充実を図るため会営薬局となりました、にぶの薬局にて無菌調剤室の整備が完了しました。7月以降の運用開始を目指していますので共同利用等でご入用の際はご相談下さい。

会員の皆様をお願いします。

姫路薬剤師会 令和7年度事業：残薬報告

令和7年度の姫路薬剤師会が中心的な事業として考えているのが、残薬報告です。医療費の適正化、適切な服薬支援、処方最適化を目指して、残薬をしっかりと確認し1年間でこれだけの医療費の適正化に協力できたことを数字にして、県や市に報告したいと考えています。

我々のやっている重複投与防止、残薬調整等の業務が「医療費削減にこれだけ協力している」ということを訴えるために数字にして出していきたいと思えます。システムとしては兵庫県薬剤師会で行っている残薬報告のシステムを利用します。どうぞご協力よろしくお願いします。

本年度の各部会の事業計画をたてています。医療保険では調剤報酬の算定において適正に行っていただきたいのと、認定制度のあるものはぜひとっていただき、日々の研鑽を怠らないようにお願いいたします。昨年度は姫路市における夜間・休日の医薬品提供体制（在宅含む）についてのリスト化と休日・夜間開局薬局輪番制のリスト化にご協力いただきありがとうございます。

兵庫界等で案内がありましたが、兵庫県薬剤師会の事業部の名称が変更になりました。この変更は、すでに単一事業部ではまかないきれないくらいの事業があり、そのため、事業部を今の状況にあった編成に変えたいという思いで名称を変更しています。姫路薬剤師会も事業の連携をしやすいするために県薬に合わせて部の名称を変更しています。

令和7年度の事業計画案につきましては、事業部単位の計画案を以下に盛り込んでいます。

最後に会員の皆様のご協力をお願い申しあげまして、ご挨拶にかえさせていただきます。

泉 憲政

＊ 学術研修部 ＊

担当副会長：深見達也

担 当 理 事：八木 智、田中定幸、松田康弘、勝間由美子、田路隆了

担 当 委 員：西本悦子

研修部は令和 7 年度の兵庫県薬剤師会の各部組織、名称変更に伴い学術研修部にかわりました。担当は同じメンバーで共に引き続き皆様にとっていい研修会になるよう努力してく所存です。

今まで同様、通常姫路薬剤師会主催の定例研修会の充実、病院薬剤師会西播支部と姫路獨協大学薬学部との連携、情報収集、今年度から兵庫県薬剤師会の従来の計画にある生涯教育研修、新薬レビュー研修会、海外の薬剤師に学ぶ研修会、高度管理機器販売業にかんする研修、OTC 濫用防止活動の推進、その他日薬に対応する学術・生涯教育に関する研修等に連携してまいりたいと思います。

今後事業内容を調整していくこともございますが、出来る限り会員の皆様に納得していただけるよう運用面におきまして努力してまいります。

深見達也



＊ 薬局機能強化部 ＊

担当副会長：深見達也

担 当 理 事：杉本香織、松田康弘、八木 智、高木 悟司

この度新しく新設された薬局機能強化部の副会長を担当することになりました深見です。

以前の薬局経営部と地域医療部の事業を細分化するために新設された部で、従来の地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の取得促進、地域における夜間・休日の医薬品提供体制構築事業、薬と健康の週間事業、県民公開講座の開催、セルフメディケーション推進のための薬局としての対応模索・支援・施策づくり（事業等の開催支援）、情報の整合性を取る会の開催、緊急避妊薬販売におけるモデル的研究事業にかんする事業、次期薬機法改正にむけての調査研究事業等、従来の兵庫県薬剤師会の事業に伴い今後連携調整を重ねて、先に紹介した新メンバーと共に努めてまいりたいと思います。

深見達也

＊ 医療保険部 ＊

担当副会長：藤原 昭

担 当 理 事：八藤賢市、松田康弘、田路隆了

医療保険部では、保険薬局・保険薬剤師のさらなる職域の拡大・適正な評価と正当な調剤報酬の獲得をスローガンに、情報を収集し、指定後講習会等で情報提供していきます。

保険調剤に係る法令・法規への知識を深めていただき、「求められる保険薬局・保険薬剤

師」として適正かつ正当で最大限の評価を得られるよう講習会の内容を更新していきます。

兵庫県薬剤師会主催の「保険薬局・保険薬剤師伝達講習会」は8月9日に姫路商工会議所501室にて開催されます。今月号の兵薬界に申込用紙がありますので、まだの方は姫路薬剤師会にFAXして申し込んでください。

また姫路薬剤師会主催の「指定後講習会」も秋以降に開催いたしますので、是非、積極的にご参加いただき、参加された薬剤師の方々の保険調剤業務の一助としていただければ幸いです。

保険調剤業務に関する質問も随時受け付けておりますので、よろしくお願いいたします。

藤原 昭

＊ 広報・文化部 ＊

担当副会長：藤原 昭

担 当 理 事：田中定幸、爲則利之

担 当 委 員：三木智弘

今年度、兵庫県薬剤師会の事業部再編成に基づき、編集・文化部は情報広報部と統合分割され、「広報・文化部」となりました。

主な事業内容は、旧編集・文化部の

1. ひめやく通信の発行
2. 会員の親睦を深めるためのイベントの開催（バス旅行等）
3. あゆみの編集（総務部と共同）
4. 姫路薬剤師会ホームページの更新、保守

となります。会員の皆様はもちろん、地域の方々へも情報を発信し、薬剤師に対する理解を深めたいと思います。

8月1日に姫路薬剤師会ホームページへ入るための
IDとPASSが変更になります。ご注意ください。

ID : himeji893142025

PASS : himeji893142025

藤原 昭

＊ 学校薬剤師部 ＊

担当副会長：深見達也、西岡健二

担 当 理 事：勝間由美子、爲則利之

代 表 委 員：成山恵美、山内康子、西本悦子、富井新也、朝治広貴

学校薬剤師は、学校長より任命された非常勤嘱託職員で、公立校では教育委員会から委嘱され公務員の一員となります。また私立校・認定こども園では学校の理事会等から委嘱されます。学校保健安全法という法律に基づき、各地区薬剤師会が各市町村教育委員会への推薦を行っています。

職務として学校内の水道水やプールの水質、教室内の空気の汚れ、給食用設備の衛生などを定期的に測定・検査を行い、子供たちが安全快適に過ごせるよう学校環境衛生基準に適合しているか確認しています。その検査結果に基づき、必要な改善指導や助言を行います。

また、上記の学校環境衛生検査以外に「くすり教育」や「薬物乱用防止」等について講義活動を積極的に取り組み、指導、助言を行っています。

近年、薬物乱用に関するニュースとして、特に10代～20代の間で医薬品や市販薬のオーバードーズが急増し、社会問題になっています。このような状況から、学校薬剤師による薬物乱用防止教室の講演依頼が増えています。

学校薬剤師は、薬物乱用防止教室で薬物乱用の危険性や正しい知識を生徒に伝える役割を担っており、生徒が薬物の誘惑に負けないように、薬物乱用による心身への影響や対処法を教えます。

今後もより多くの生徒が薬物の危険性を理解し、薬物乱用から身を守れるよう、多くの学校で薬物乱用防止教室の開催数を増やしていこうと考えております。学校薬剤師部員の先生におかれましては、講演依頼があった場合は、すぐに断らず学校薬剤師部に相談してください。資料の提供など全力でサポートいたしますのでご協力をお願いいたします。

現在、学校薬剤師部では、約250校の学校施設を108名の学校薬剤師が担当しております。学校薬剤師1人1校の担当を目標にしておりますので、引き続き状況に応じて11月頃に新規会員募集を行いますので、興味があり、やってみたいという先生はご応募ください。よろしくお願いいたします。

西岡健二



＊ 連携推進部 ＊

担当副会長：池口由美、西岡 健二

担 当 理 事：森保貴典、松岡 洋平、高木悟司

連携推進部は、旧薬局経営部の事業を引き継ぎ、4病院（兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路聖マリア病院・姫路医療センター・姫路赤十字病院）に担当理事を配置し、薬業連携会議開催（年3回）等を中心

に交流を図り、担当役員が個別対応し、病院⇄薬局間での課題の抽出や課題解決、情報共有等について連



携に支障がでないよう、努めて参ります。

昨年度開催した合同研修会もより充実した内容で開催すべく、協議を重ね、準備中です。

医療用医薬品の出荷停止、出荷調整による保険薬局への多大な影響・苦境について医療機関に訴え、柔軟な対応を頂くよう依頼を継続し、電子処方箋やリフィル処方箋等への対応について情報共有し、対応していきます。

また、姫路市生活援護局と協力して行っている、生活援護室における服薬管理指導業務委託事業を継続し、生活保護受給者への訪問服薬管理指導の中で、後発医薬品の使用促進・生活困窮者への受診勧奨・特定検診等の検査受診の啓発等の支援を継続して行います。

新たな取組みとして、これまで旧地域医療部が中心に行っていた他職種・地域との連携強化のための業務を引き継ぐこととなりました。地域包括ケアシステムの発展へ向けた多職種連携事業の拡充、他職種への薬剤師職能の啓発活動及び他職種に学ぶ研修会の企画・実施等々、薬剤師職能向上部と連携し、業務を引き継いで注力していきます。

- ・他職種への薬剤師職能の啓発活動、他職種に学ぶ研修会の開催
- ・訪問薬剤管理指導の推進

研修会も実施していきます。積極的に参加頂き「情報交換」「顔の見える化」など薬局業務にお役立て下さい。

担当役員全員で、頑張っていきます。本年度もよろしくお願い申し上げます。

池口由美

＊ 薬剤師職能向上部 ＊

担当副会長：池口由美、関 悠吾

担 当 理 事：杉本香織、森保貴典、安田幸一、松岡 洋平、田路隆了

担 当 委 員：永谷仁子

団塊の世代が後期高齢者のピークを迎える 2040 年、2050 年問題に向けて、薬剤師として今後生き残るために習得・対応力向上のための研修会を積極的に開催すべく、準備中です。今後は少子高齢化に伴い外来の患者数は減少します。

薬局薬剤師は、今より一層、在宅で療養されている方やそのご家族を含めた支援者に対する支援やサービスを充実して、地域のかげがえのない資源として活躍していかなければなりません。

外来患者様への対応力に加え、セルフメディケーションの知識や OTC 関連の知識、コミュニケーション能力の向上などが必要です。

これまで行っていた事業を、連携推進部に引き継ぎながら、新たな事業を展開すべく準備中です。



「健康サポート薬局に対応するための支援事業」では、主に健康サポート薬局研修Bを担当します。姫路で開催されますので積極的にご参加下さい。

ニーズが多くなってきているママパパサポート活動への支援もオンライン開始も視野に入れ実現できるよう活動していきます。ママサポート認定薬剤師の皆様、是非積極的にご活躍下さい。

やらなければいけないことが盛りだくさんですが、役員を増員し、一丸となって頑張っていきます。本年度もよろしくお願い申し上げます。

池口由美

*** 神崎郡担当 ***

担当副会長：池口由美

担 当 理 事：八藤 賢市

担 当 委 員：住谷 庸子

神崎郡圏域の、連携推進部・薬剤師職能向上部関連の業務を継続して行って参ります。

各行政・多職種主催の会議にももれなく出席し、事例や状況、環境に応じて薬剤師がどのようにに関わり合えるかなどの薬剤師職能をアピールしております。他職種が集う研修会、事例検討会の情報を随時配信していますので、積極的にご参加いただき、地域医療参入の第一歩として、また活動領域拡大のための手段としてお役立てください。

また、高齢者の方々が参加する「通いの場」や多職種参加型の研修会での講師派遣や、他職種のスキルアップ研修会に講師として派遣しています。講師募集のご案内させていただいた際には、積極的に手を上げて頂き、地域活動へご参加ください。

担当役員一同 本年も頑張っています。本年度もよろしくお願い申し上げます。

池口由美

*** 薬学教育部 ***

担当副会長：池口由美

担 当 理 事：勝間由美子、杉本香織、安田幸一、松岡洋平

担 当 委 員：安福良太

薬学教育部では、兵庫県薬剤師会と病院薬局実務実習近畿地区調整機構の主導のもと、実務実習受入施設の整備強化として実習生のマッチング（トラブル発生時の対応等含）・病薬連携整備（グループ化）・モデルコアカリキュラムへの対応を行います。来年度の実習受入調査を兵庫県薬剤師会が行っており、積極的な実習受入に手挙げしていただいています。受入施設への支援力を強化して参ります。

新規に実務実習指導薬剤師を取得したい場合は、ワークショップの参加が必要となります。実務実習指導薬剤師の免許の有効期間確認と、必要に応じて免許更新の対応も早めをお願いします。

つぎに、認定実務実習指導薬剤師更新講習会の案内や支部でのグループ協議会の開催、指導薬剤師へのアドバンスワークショップの参加を促し、変革期に対応できる環境整備を継続して行います。また、6

年制カリキュラムへの対応として、各薬科大学早期体験学習対応、OSCE 評価者、事前学習への講師派遣を継続します。

関係各所の研修会・会議等にもれなく参加し、必要な情報を収集して受入薬局の支援を行います。本年度もよろしくお願い申し上げます。

池口 由美

＊ 総務部 ＊

担当副会長：関 悠吾(事務局長)、西岡健二

担 当 理 事：八藤賢市、松岡洋平、安田幸一

事 務 局：船引里香、横山朝美

総務部では、薬剤師会業務の庶務、予算管理、人事管理、表彰業務等を行っております。

まず庶務ですが、法人としての各種規則・書式の点検・整備を行い、社会の要請に合わせて、雇用調整への対応、就業規則の見直しや、書式の更新を行います。

予算管理ですが、事業部の廃止・変更・新設となりましたので、各部の事業が円滑に行えるように科目の整理を行い、収支を常に把握、予算が正しく使用できるように数字の動向管理に努めます。また、(株)ヒメヤクの収支・支出の確認を行い、予算・決算に連動させてまいります。

人事管理におきましては、本部職員及び FAX コーナー職員に対し、雇用者として求められることを誠意をもって、対応します。

表彰関連では、みなさまの今迄の活動を明らかにするものですので、漏れなく管理致します。

一般・会員からの苦情相談がありましたら、真摯に迅速に対応するとともに、会員への現状報告、関係機関との調整・連絡を行います。

今期より以前の情報広報部より ICT に係る支援の領域で一部事業を継承しました。

薬局 DX 推進における事業で会員支援してまいります。

最後に、今年のお盆は祝日の兼合いもあり、

2025 年 8 月 9 日（土）～8 月 17 日（日）まで事務局が盆休みとなります。

届出等がありましたら 8 月 8 日までにご対応をお願い致します。

以上、迅速果断に事業を展開します。

関 悠吾

＊ 災害公衆衛生部 ＊

担当副会長：関 悠吾

担 当 理 事：八木 智、爲則利之、高木悟司

2025 年は阪神・淡路大震災から 30 年を迎えました。阪神・淡路大震災の発災当時は病院に行っても十分な治療が受けられず、医療情報が共有できる体制が未発達であった事もあり、初期医療体制の遅れが指摘されました。これを機に災害医療の“wake-up call”となり今日に至ります。昨年

発生した能登半島地震まで過去の災害経験や教訓を忘れることなく、活かし備え、繋いでいけるように行政・消防・警察・三師会・拠点病院と連携をとり事業を進めてまいります。それに加え、県内市内で災害が起こった際に対応ができる薬剤師の更なる育成や、活動レベルの維持向上に努めてまいります。

兵庫県薬剤師会では災害時に薬剤師を派遣する場合、災害支援薬剤師を中心に計画を立てていきます。定期的に研修会が企画されていますので、是非参加いただき、兵庫県災害支援薬剤師の登録をお願いいたします。災害時には災害支援薬剤師として協力できる体制をとり、市民や要救助者の支援に入ってもらいたいと思います。下記 URL より是非ご登録ください。



<https://ws.formzu.net/dist/S41145492/>

自身の薬局や従業員等の身を守れるように、そして地域の医療を守り、すぐに再建できるように日頃から災害に対応できる強い薬局づくりを整備していきましょう。

災害にかかわる活動・研修として、

- PhDLS(災害薬事研修コース)研修
- 災害支援薬剤師養成研修、
- 姫路市情報処理訓練（姫路ロジスティクス研修会）

中播磨県民センター・姫路市保健所・姫路市医師会・姫路市歯科医師会・

神崎郡医師会・神崎郡歯科医師会・西播支部看護協会・姫路薬剤師会共催

- 兵庫県薬剤師会・姫路薬剤師会 災害時情報伝達訓練

を予定しております。日程等決まりましたら都度お知らせしますのでご参加ご協力宜しくお願い致します。

薬局における BCP 作成と整備におきまして、ご存知の通り、介護報酬改定では感染症や災害、虐待への対応力強化において、居宅療養管理指導を行う薬局の BCP 作成が義務化されております。この先、薬局も他サービス機関との連携を構築するため、提出が求められるケースも出てくると思われます。また、調剤報酬改定においては連携強化加算で災害時の対応マニュアルが必要となっています。

兵庫県薬剤師会のホームページに兵庫県薬剤師会版 BCP シート（災害対策編・感染症対策編）を県薬ホームページ会員のページにアップしていますので BCP 策定がまだの会員薬局においてはご参考ください。

また、今期は災害時の安否確認システムの導入と運用（会員情報の電子化）を検討しております。

発災時には会員個人へ SMS で災害情報が事務局から一斉に配信され、受診を確認した会員は SMS から安否情報送信画面へ遷移します。遷移先の安否情報送信画面ではご自身の状態・薬局開閉の有無・救護所や避難所への応援の可否を確認します。会員より送信された情報は、事務局でリアルタイムに管理されますので、行政はじめ医師会・歯科医師会・関連団体との共有を想定しています。有事の際は、姫路薬剤師会としての初動を早急に取れるようシステム体制を構築しておきたいと考えておりますので会員情報の登



録にご協力をお願いします。

最後に薬学実務実習生に対する災害薬事研修会を年3回、場所は姫路駅前じばさんビルで行いますので実習生を受入している薬局は是非ご参加ください。

以上、迅速果断に事業を展開します。

関 悠吾

* 特別事業部 *

担当副会長：藤原 昭、関 悠吾

担 当 理 事：田中定幸、森保貴典

特別事業部の活動の主になるところは休日夜間急病センターでの委託業務活動です。市民に対して薬局外での姫路薬剤師会としての調剤・服薬業務活動となります。

地域に貢献する活動を中心に薬剤師職能のアピールを行っていきます。また、地域連携薬局や健康サポート薬局といった専門性をもった、患者に選ばれる薬局を目指しサポートを行っていきます。

1) くすりと健康の週間

今期もくすりと健康の週間のイベントを開催する予定です。
毎年好評の「こども薬局」や「サイエンスショー」をはじめ、
様々なブースで市民の健康意識を高める活動をしています。
地域支援活動の認定書を発行しておりますので、たくさんの
先生方のご協力よろしくお願いいたします。

開催日：令和7年10月19日（日曜日）

場 所：花の北市民広場



2) 姫路市休日・夜間急病センター（姫路市救急医療協会からの委託業務）

出務者のシフト調整・予算要望・新規出務希望者募集・医薬品在庫管理 24 時間待機電話・
実務実習生の受け入れ・感染予防対策等を行っています。

出務希望者の面談は随時行っていますので薬剤師会事務局までお問い合わせください。

3) 広域病院処方箋送信事業

処方箋送信事業の継続管理及び処方箋送信コーナーの運営管理をしています。

4) その他 他部会のサポートをします。

藤原 昭

＊ 薬剤師連盟 ＊

姫路薬剤師連盟：会長 泉 憲政

幹事長 関 悠吾

兵庫県薬剤師連盟姫路支部：支部長 杉本香織

兵庫県薬剤師連盟姫路支部：班 長 泉 憲政、池口由美、深見達也、関 悠吾、藤原 昭、
西岡健二、田中定幸、杉本香織、森保貴典、八藤賢市、
安田幸一、松田康弘、勝間由美子、爲則利之、八木 智、
松岡洋平、高木悟司、田路隆了

薬剤師連盟は、薬剤師及び会員の生活向上、地位保全のために国、地方自治体に意見を陳情してもらえ、議員を応援し、選挙時には、その議員の支援にまわります。

昨年改定では、地域支援体制加算等の減算や新設も含む調剤報酬各項目の算定要件ハードルがあがるなど薬剤師を取り巻く環境はより一層厳しいものとなりました。その改定内容や趣旨が日々の薬剤師業務に十分反映されているかどうか注視し、現場での改善点や要望があれば国政や地方自治体に声を上げていく必要があります。

慢性的な医薬品供給不足は解消せず、多くの薬局が処方医薬品の調達に苦慮されている状況かと存じます。こうした状況を少しでも打破解消するために薬剤師の代表である国会議員が2人体制で国政にて獅子奮迅の勢いで活動されています。薬剤師ひとりひとりの力を一致団結、大きな力に変えて後押しできるよう姫路薬剤師連盟からも一層活発に声を上げていきましょう。

今夏は第27回参议院議員選挙が予定されており、暑い夏となります。会員みなさまの薬局へ支部の班長がご挨拶やご連絡に伺うことがあります。その際には連盟活動への御理解・御賛同を、何卒宜しくお願い致します。



現場の薬剤師・薬局の声をさらに政界へ届けるために、

国民の義務である選挙へ 薬剤師、従業員、ご家族で

投票へ行ってください。

期日前投票は手ぶらで行けます。

直往邁進に活動ができるよう兵庫県・姫路エリアをあげて後援活動の強化に努めたいと思います。

B会員で連盟会費を未納の先生、また、**薬剤師連盟に未加入の先生**におかれましては、薬剤師職能の維持・向上のためにも、どうか連盟会費をご入金・**連盟にご入会**くださいましたら幸いです。このことも御一考の程、よろしくお願いします。

幹事長 関 悠吾